

【課題】

国内随一の古都として、神社仏閣をはじめとした歴史深い地域資源や、豊かな自然が育む農産物を、豊富に有しているが、その強みを十分にいかせておらず

県内消費率
県民一人当たりの年間商品販売額
県内就業率
県内宿泊者数 が低迷しており、それらの増加が緊急の課題となっている。

【目的】

地域資源を掘り起こし、磨き上げ、有機的に結びつけることを後押しして“奈良県に魅力的な商品やサービスを増やすこと”を目的とする。

これにより、県内消費の増加や、ひいてはブランド力強化による観光客誘致につながると考える。

【奈良県の施策との連携・親和性】

“奈良新『都』づくり戦略”に掲げる

- I 栄える「都」をつくる
 - 1. 地域活性化
- II 賑わう「都」をつくる
 - 3. 滞在型観光の定着
 - 5. 観光奈良の魅力向上発信

等の施策と親和性が高く、支援が十分でない地域資源を活用した新事業展開へは、本事業で補完を行い県の施策と連携する。

【本事業の内容】

奈良県内の小規模事業者・中小企業者の地域資源活用等による新事業展開（**新商品・新サービスの開発、販路開拓等**）にかかる経費の助成支援並びに助成金外部協力者（専門家）による支援を行う。

【支援の内容】

1. 【助成金の交付】

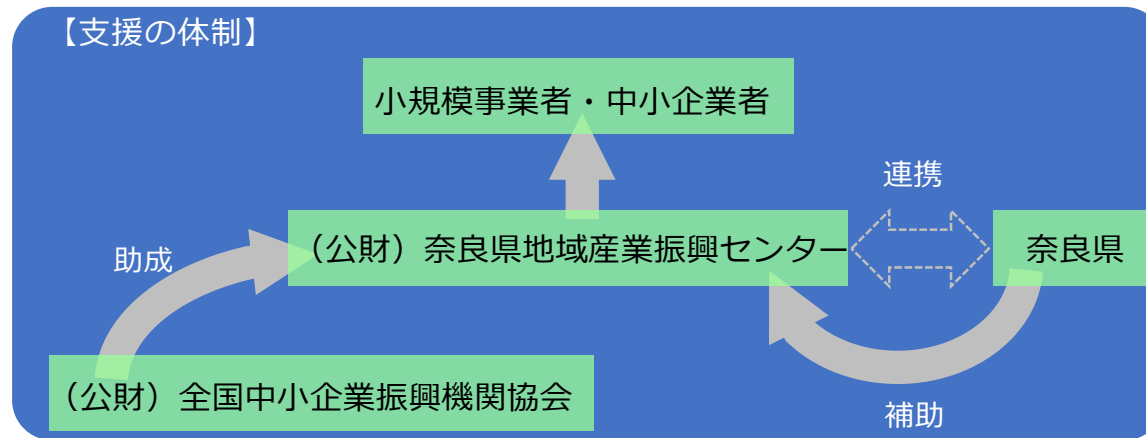
地場産品や地場産業、地域資源に関する新事業展開等に助成

- 助成対象事業：
 - i) 新商品、新サービスの開発
 - ii) 新規の販路開拓
- 助成率：1 / 2 以内
小規模事業者は 2 / 3 以内
- 上限額：2,500千円 以内/者

2. 【外部専門家によるフォローアップ支援】

- 支援プラン①
クラウドファンディングを活用した販売促進支援
- 支援プラン②
プレスリリースによる販路開拓支援

【支援の体制】



【成果目標】

- ・事業終了年度から **3年以内に事業化**
- ・事業化達成した年の翌年度から3年間で **年率3%の付加価値向上**

【波及効果】

- ・地域産業の活性化による **雇用の創造、県内GDPの向上**
- ・実施事業をPRすることによる、地域のプロモーションで **観光・宿泊客増加や消費拡大**
- ・県および市町村や地域との **連携増強**

【将来の支援目標】

- ・首都圏での情報発信
 - ☆銀座松屋常設
 - “N・A・R・A T・E・I・B・A・N”
 - ☆奈良まほろば館
- ・県内施設、旅館・ホテルでの情報発信
 - ☆コンベンションセンター
 - ☆JWホテルマリオット など
- ・外部機関・専門家と連携した支援
 - 奈良県産業振興総合センターによる **新商品開発支援**
 - 地域金融機関による **資金支援**
 - 専門家派遣制度による **継続支援**
 - 各機関との連携での **新規案件の掘り起こし**